



4万円の賃金の引き上げで、働き続けられる職場をつくろう



政権与党の民主党は、09年総選挙のマニフェストのなかで「全国どこでも、介護の必要な高齢者に良質な介護サービスを提供する」ために「介護労働者の賃金を月額4万円引き上げる」ことを公約しています。私たちの世論と運動でこの公約を1日も早く実現させましょう。



2010年10月18日(月)厚生労働省と交渉



求められる制度改善



「介護認定基準」の変更や利用限度額の上限が変わらない中で、介護保険を利用できない方が増えています。政府与党は、2012年に報酬改定と制度改定をあわせて行う方向を出していますが、私たちの運動で介護が必要なすべての人が、利用できる介護保険制度にしていくことが求められます。

入ってよかった労働組合

声を出すことが大切

生協労組
ちば

春闘で時給が三段階になった事が成果としてよかった事。声を出すことは大切なことなのだと思います。同じ介護センターの方が機関誌に載る事で労組が身近に感じられました。

四街道介護センターで仕事をさせていただいて、もうすぐ一年。どんな相談にもきちんと対応してもらい、がんばってこれました。



介護部会
役員会議

労組に入って視野が広がった

かながわ
生協労働組合
東絹子・ヘルパー

私は労組に加入して初めて「原水爆禁止世界大会・長崎」や、全労連や生協労連の「介護職場で働くなかまの交流会」に参加しました。また、かながわ生協労組が企画した「横浜港湾見学」にも参加しました。「原水爆禁止世界大会」では、原爆投下から60年以上たった今も、原爆症で苦しむ被爆者の方々を知りました。横浜港湾の見学では、いつ袋詰めされたのかわからないたくさんの塩漬け食品に驚きました。介護のなかまとの交流は、いつも自宅と利用者さん宅との往復しかない私にとって、貴重な学習と交流の経験でした。

私は、いろいろな経験をさせていただき視野が広がったように思います。ぜひ、みなさんが労働組合に加入し、活動に参加することをお勧めします。



介護・福祉の職場で
働くなかまの
みなさんへ



全国生協労働組合連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9 南部ビル3F
TEL 03-3408-0067 FAX 03-3408-8955
ホームページアドレス / <http://cwu.jp/>
E-mail / QYG03057@nifty.ne.jp

労働組合に入って賃金・労働条件を改善しよう

働き続けられる職場にしたい

労働組合に入っていないなかまのみなさん、労働組合は「よりよい介護を実現していくために」「あなたのくらしと権利を守るために」活動します。労働組合に入れば、経営者と対等の立場で交渉ができるとともに、国に対しても交渉することができます。



いい介護がしたい～ 介護事業交流会で悩みや思いを交流

生協労連は、介護保険が始まった2000年以来、毎年介護事業交流会を開催し、介護で働くなかまの学習と交流を行ってきました。参加者からは、「元気をもらった」「みんな同じ悩みを抱えているんだ」「勉強になった」など、大変好評を得ています。地域でも同様の学習交流会が行われています。必要なスキルを学ぶこと、悩みを交流することで元気になり、よりよい介護ができるようになります。

生協労連
介護事業交流会



労組に団結して介護報酬改定と、賃金アップをかちとった!

09年4月の介護報酬改定(平均3%)に続き、介護職員の処遇改善を目的とした交付金を活用し、全産業平均で10万円も低いといわれる賃金の改善を要求して、団交でせまりかちとりました。



こーぶ
福祉会(みやぎ)
団体交渉

主な成果

福祉専任職員

- みやぎ デイサービス: 8500円
ヘルパーステーション: 10000円
- かながわ 訪問介護管理者: 6000円
サ責・常勤ヘルパー: 12000円
- あいち(めいきん) 15000円
- あいち(みかわ) ベア5000円+手当10000円
- ひろしま 福祉専門員8000円

低い賃金、離職率20%

介護保険制度が始まって10年、さまざまな問題を抱えスタートした介護保険の矛盾はさらに大きくなり、「介護難民」「介護崩壊」など社会問題となっています。なかでも、介護を支える「人材不足」は深刻です。介護労働者の離職率は21.5%と他産業と比較すると高くなっています。それは、働きつづけられない低い賃金が最大の原因です。

表1 介護労働者の賃金実態 (千円)

	決まって支給する給与	所定内給与額	平均年齢	勤続年数
全産業(全体)	330.6	301.1	41	11.8
男	372.4	336.7	41.9	13.3
女	241.7	225.2	39.2	8.7
福祉施設介護員(全体)	210.7	199.5	36	5.1
男	225.9	213.6	32.6	4.9
女	204.4	193.7	37.4	5.2
ホームヘルパー(全体)	213.1	197.7	43.8	4.8
男	239.3	214.7	36.7	3.5
女	207.4	194	45.3	5.1

表2 介護労働者の離職率 (07年度)

	離職率		
	全体	正規職員	非正規職員
全産業	16.20%	13.10%	26.30%
介護職員	21.60%	20.40%	32.70%
訪問介護員		18.20%	16.60%

注1) 全産業は06年度雇用動向調査 注2) 介護関係は、07年度介護労働実態調査
注3) 離職率は07年度の離職者数÷06年9月30日の在籍者数×100

ヘルパー(直行直帰型)

- みやぎ 60円
- かながわ 70円
- あいち(めいきん) 介護福祉士30円、
経験給・時間帯・日祭日などを増、一部減
- ひろしま 20円